

第2回 AITE 定例会（2009年4月14日）報告

投稿者：陳 草（書記・言語領域 M2 在籍）

第2回定例会報告

2009年4月14日（火） 20：10～21：40 於：立教大学 11号館 A303室）

テーマ：差異共有能力としての異文化能力

主催：ケンパー・マティアス（本学会代表）

参加者：12名（異文化研究科：11名、外部者：1名）

会員 各位

拝啓 緑が日々広がる新学期の始まり、皆さんはそれぞれの目標に向かって、新たな出発をしたことと存じます。

このたびは AITE 第2回定例会が無事に終了しましたことをご報告させていただき、感謝を申し上げます。

定例会ではケンパー氏による発表をもとに、参加者の皆さんが「異文化能力」について議論が広がりました。

ケンパー氏がまず自分の経験に基づき、現在異文化領域で広く使われている、「相手を理解しよう」という考えに疑問を投げかけました。

同氏によると、「その文化に対する知識がある人が、異文化能力が高いとは言い切れない」し、相手を一所懸命理解しようとすることで、自分を追い詰め、最悪の場合うつになるケースもあります。

なので、「もう一度異文化コミュニケーションの目的を考え直すべきでは？」と同氏が更に質問をかけ、最後には「相手を理解するよりも、自分のことを理解してもらおう。そして、自分との違いを分け合う。（中略）自分自身を理解することに重点を置き、（中略）理解は相手とのコミュニケーションの結果」という考えを提案しました。

その後続き、大久保氏（本学会実行委員メンバー）からも「目的達成」に重点を置いたコミュニケーションモデルが提示されました。

これを受け、他の参加者の方々も色々と意見が述べられ、お互いいい情報交換になったことと存じます。

敬具

追伸：お知らせです！

- 1、学会メンバーを募集中です！興味のある方をぜひ

http://www.ibunka-coaching.com/aite_moushikomi.html

にて、まず定例会のご見学を！

- 2、5月にゲストスピーカーが呼びことになりました。

詳しい情報は後に伝えますので、お楽しみを！

- 3、「ご返信・ご送信件数」のカウントが始まりました。

一番メールの多かった方には無料で飲み会にご参加いただきます。

会員の皆さん、ぜひ頑張ってください！